

わがまち自慢 ～市長室から～

青森県むつ市
みやしたじゅんいちろう
宮下順一郎 市長



市政を預らせていただいて5年目に入りました。「まちづくりの主役は市民の皆さん」という基本理念※1のもと、就任以来取り組んでいる「お出かけ市長室」では、これまで約2,000人の市民の皆様からご参加をいただき、たくさんのご意見を市政に反映させることができたと思っております。また、懸案でありました「赤字財政の脱却」と「庁舎移転」についても、評価をいただくことができたと思っております。

当市の自慢ということですので、**三**数ある中から2つの「自慢」をさせていただきます。就任以来、力を入れているもののひとつに「むつ市のうまいは日本一！」※2があります。これも、私の基本理念のひとつですが、地産地消運動を柱にフェアの開催や新商品の開発に対する支援など、地場産品の積極的な消費推進による第一次産業の振興と地域経済の活性化に取り組んできました。

下北弁に「えふりこぎ」という言葉があります。「ええかつこしい」とか、「見栄っ張り」という意味です。しかし、逆にこちらの住民性としては、良い意味では「奥ゆかしい」というか、「謙虚」といいますか、あまり自己主張をしない傾向がありますが、私は、美味しいものがたくさんあるのに、それをもっと自慢してよいのではという思いがありました。

その意味で、市内外に向けた「PR力」が不足しているのではな

いか、ということで「ムッシュ・ムチュランⅠ世」というキャラクターをつくり「自慢の産品」の売り込みを図ることとしました。北側にある釜臥山かまふせやまからみたむつ市の夜景はアゲハ蝶の形をしています。その姿に誘われて、「美食星」から来た王様という設定にしました。このキャラクターは、市民の間にも定着してきており「ムチュリー」と結婚して今ではⅡ世もいます。

昨年3月、東京・江東区にあるかめいどかとりかちうん亀戸香取勝運商店街の一角に、「元気むつ市応援隊」の応援プロデューサーが手がけるアンテナショップ「あおもり物産ショップ・むつ下北」がオープンしました。産品販売とともに、積極的に当地域の情報発信をしていただいております。本年5月には商店街と連携した本市産品のPRイベント「むつ市のうまいは日本一！ in 亀戸「むつとの遭遇」」を開催させていただきました。江東区の区長も来られて新たな交流が始まり、この10月にも亀戸香取勝運商店街と連携したイベントを開催する予定です。

こうした中で、3つの漁協が協議会を立ち上げ、「産直プラザ」を本庁舎の一角に設置し、月1回の夕方市の開催や、新たな水産加工品を作る動きも出てきました。また「下北ワイン」は「下北ブランド」の先駆けともいえるもので、農家が農事法人を立ち上げ、ワイン用のブドウを栽培し、民間企業がワイナリーを作

り、試験栽培から足かけ10年をかけて、待望のワインができたものです。

市内の企業に企業力を高めていただく「企業連携強化事業」※3という取り組みも推進しております。これは下北・むつ市の地域企業の技術力を高め、地域内のエネルギー関連事業への参入促進と人材育成を図ることを目的とするものです。事務局を市産業政策課に置く「下北・むつ市企業連携協議会」を立ち上げ、企業の従業員や一般市民を対象に、放射線関連の国家資格の取得を目指した「受験対策講習会」を開催してきました。

難関といわれる「第2種放射線取扱主任者試験」では、一昨年と昨年で25名の合格者が出て、中には高校生の合格者もいます。これが2つ目の自慢です。

着実に人材が育ち、企業力がアップしていると感じております。市全体に、こうした「放射線取扱主任者」や「非破壊試験技術者」といった資格を取得する気運が高まってきており、小中学生の放射線を活用した先端産業や原子力関連研究施設への訪問といった人材育成を含め、エネルギー関連産業への関与をより積極的に推進しております。（談）

※1 むつ市政の基本理念

むつ市は「希望のまち・むつ市」の実現に向けて、「持続可能な財政運営」と、50年後の市制100周年を目指す「ネクスト50へのさらなる基盤づくりと飛躍」、「市民協働・参画の社会づくり」の3つの柱を市政の基本としている。図はむつ市のキャラクター「ムッシュ・ムチュランⅠ世」の家族。



※2 「むつ市のうまいは日本一！」推進事業プロジェクト

むつ市における一次産品の地産地消を推進すると同時に、首都圏での販売・情報発信や産品の加工販売など、第一次産業の振興と地域経済の活性化を目指す。代表的な産品は「脇野沢のマダラ」「一球入魂カボチャ」「下北ワイン」「海峡サーモン」「夏秋イチゴ」など17品目。写真はその一環として開催した東京・亀戸香取勝運商店街でのイベント。



※3 企業連携強化事業

下北・むつ市の地域企業が技術力を高め、地域内のエネルギー関連事業への参入促進と人材育成を図ることを目的とする事業。写真は放射線関連の国家資格の取得を目指した「受験対策講習会」の様相。

